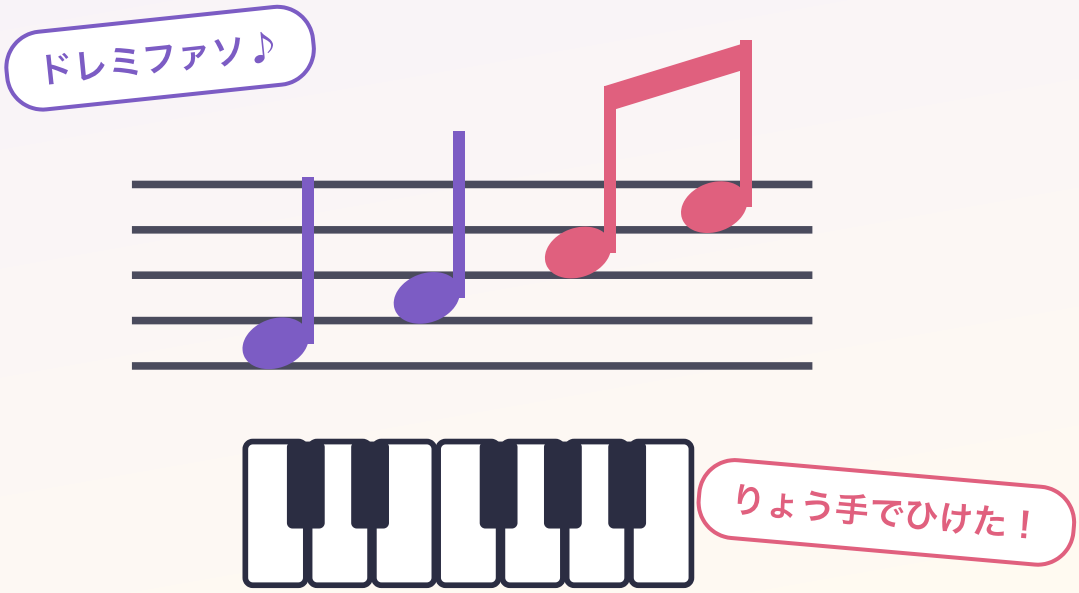
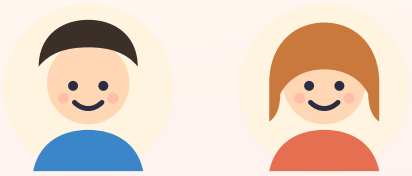
Season 4 | No.33



鍵盤ハーモニカ・ピアノの基本

けんばんで、ドレミをひいてみよう



全30ページ | 無料教材

一般社団法人文化芸術支援協会

この教材の使い方

1 声と体で感じる
音楽は、歌ったり手をたたいたりするほど身につきます。気になったところは、何度でも声に出してみましょう。

2 本物の音を聴く
この教材に出てくる曲や楽器は、音源や動画でも聴いてみましょう。耳で知ると、理解がぐっと深まります。

3 「やってみよう」は手と体で
答えは30ページにあります。正解がひとつではない問題もあります。自分の感じ方を大切にしましょう。



Ken（ケン）
音楽が好きな中学生。ギターを始めたばかり。



Emma（エマ）
カナダから来た留学生。ピアノが得意。

もくじ

鍵盤を知ろう …… 3〜19
練習しよう …… 20〜24
ふり返り …… 25〜30

Lesson 1

鍵盤のならび

鍵盤は、同じパターンがくり返されています。

鍵盤ハーモニカやピアノの鍵盤は、**白い鍵盤（白鍵）と黒い鍵盤（黒鍵）**が規則正しくならんでできています。
黒鍵は「2つ・3つ」のまとまりでくり返されていて、この形を目印にすると、どの鍵盤がどの音か見つけやすくなります。



ポイント

- 黒鍵のかたまりは、2本・3本を1セットとして、くり返しならんでいます。
- この形をおぼえると、鍵盤のどこを見ても位置がわかるようになります。

やってみよう

1. 鍵盤の絵や本物の鍵盤で、黒鍵が2本のかたまりに丸をつけよう。
2. 黒鍵が3本のかたまりにも丸をつけよう。

書いて覚えよう

Lesson 2

白鍵と黒鍵

白鍵と黒鍵の役割のちがいを知ろう。

白鍵

white key（ホワイトキー）

ドレミファソラシにあたる、白い鍵盤

黒鍵

black key（ブラックキー）

白鍵と白鍵の間にある、黒い鍵盤

ポイント

- はじめのうちは、白鍵だけを使う曲からで十分です。
- 黒鍵は、白鍵の音をほんの少し上げたり下げたりする役割があります。

やってみよう

1. 鍵盤の左から右へ、白鍵だけを指でなぞってみよう。
2. 黒鍵にも指でふれて、白鍵との高さのちがいを感じてみよう。

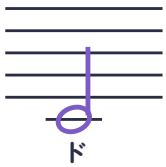
書いて覚えよう

Lesson 3

ドの見つけ方

黒鍵2本の左どなりが「ド」の目印です。

ドの音



黒鍵が2本ならんでいるかたまりの、いちばん左どなりの白鍵が「ド」です。

ポイント

- 黒鍵2本のかたまりを見つけると、その左どなりが必ず「ド」になります。
- この目印をおぼえると、鍵盤のどの場所でもドを見つけられます。

やってみよう

1. 鍵盤の中にある「ド」を、見つけられるだけ丸をつけよう。
2. 見つけたドを、1つずつ指でおしてみよう。

書いて覚えよう

Lesson 4

指番号

指には、1〜5の番号がついています。

指	番号
親指	1
人差し指	2
中指	3
くすり指	4
小指	5

ポイント

- 楽譜に書かれた数字は、どの指を使うかを表す「指番号」です。
- 指番号どおりにひくと、指の動きにむだがなくなります。

やってみよう

1. 自分の右手を見ながら、1〜5の指番号を声に出して確認しよう。
2. 左手でも同じように確認しよう。

書いて覚えよう

Lesson 5

手の形

たまごを持つような、丸い手の形が基本です。

よい手の形のポイント

指をまるくする　手首を平らに　力をぬく

軽くたまごを持つようなイメージで、指の関節を自然に丸くします。

ポイント

- 指をピンとのばしたまま鍵盤をおすと、力が入りすぎてしまいます。
- 手首が下がったり反りすぎたりしないよう、まっすぐを意識します。

やってみよう

1. 机の上で、たまごを持つような手の形を作ってみよう。
2. その形のまま、鍵盤を軽くおしてみよう。

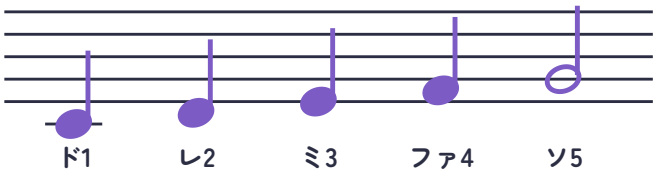
書いて覚えよう

Lesson 6

右手でドレミ

右手の1〜5の指で、ドレミファソをひこう。

右手のドレミファソ



親指（1）をドに置くと、そのまま2・3・4・5の指がレミファソに並びます。

ポイント

- 親指をドに置くのが、右手の基本の形です。
- 1本ずつ順番に指をおろしていくと、自然にドレミファソになります。

やってみよう

1. 右手の親指をドに置き、1〜5の順にひいてみよう。
2. 5〜1の順に、ソから下がってもひいてみよう。

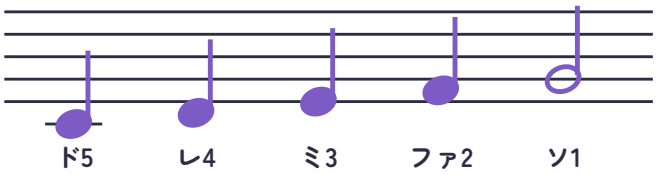
書いて覚えよう

Lesson 7

左手でドレミ

左手は、指番号の向きが右手と逆になります。

左手のドレミファソ



左手はドを小指（5）で、ソを親指（1）でひくのが基本の形です。

ポイント

- 左手は小指がド、親指がソにくるのが基本の形です。
- 右手と逆になるので、最初はゆっくり確認しながら練習しましょう。

やってみよう

1. 左手の小指をドに置き、5〜1の順にひいてみよう。
2. 右手と左手を1オクターブはなして、同時にドをひいてみよう。

書いて覚えよう

Lesson
8-9

指くぐり・指こえ

5本の指だけでは足りないとき、指を移動させます。

指くぐり

thumb under（サムアンダー）

親指を、ほかの指の下をくぐらせて先へ進む動き

指こえ

finger over（フィンガーオーバー）

ほかの指を、親指の上をこえさせて進む動き

ポイント

- 指くぐりは、上りの音階でよく使われます。
- 指こえは、下りの音階でよく使われます。
- 手首を大きく動かしすぎず、指だけを静かに移動させるのがコツです。

やってみよう

1. ドレミの後、親指を中指の下にくぐらせてファをひいてみよう。
2. ファミレの後、中指を親指の上にこえさせてドにもどってみよう。

書いて覚えよう

Lesson 10

両手でひく

右手と左手を、同時に動かしてみよう。



Emma
両手を同時に動かすと、右手がとまっちゃうよ。



Ken
最初は片手ずつ完ぺきにしてから、ゆっくり合わせるといいらしいよ。

ポイント

- 片手ずつ確実にひけるようになってから、両手を合わせるのが近道です。
- 最初はとてもゆっくりの速さで、音がそろっているか確認しながら練習します。

やってみよう

1. 右手だけでドを、左手だけでドを、それぞれひいてみよう。
2. 両手のドを、同時に1回おしてみよう。

書いて覚えよう

Lesson 11

鍵盤ハーモニカの息

鍵盤ハーモニカは、鍵盤と息を同時に使います。

ポイント

- 鍵盤をおしながら、同時に息を吹き入れると音が出ます。
- 強く吹きすぎると音がわれ、弱すぎると音が出ません。
- パイプ（吹き口）をくわえる角度は、まっすぐを目安にします。

やってみよう

1. ドの鍵盤をおしたまま、やさしく息を入れてみよう。
2. 同じ強さの息で、ドを4回、区切って吹いてみよう。

ワンポイント パイプの中にたまった水滴は、演奏後に軽くふき、ときどき部品を洗って清潔に保ちましょう。

書いて覚えよう

Lesson 12

ピアノのペダル

ペダルは、音の響きを変える道具です。

ペダル	位置	はたらき
ダンパーペダル	いちばん右	音を長く響かせる
ソフトペダル	いちばん左	音をやわらかくする

ポイント

- 足がペダルにとどかないうちは、無理に使わなくても大丈夫です。
- ダンパーペダルをふみっぱなしにすると、音がにごって聞こえることがあります。

やってみよう

1. ピアノがあれば、ダンパーペダルをふんで音の響き方を聴いてみよう。

書いて覚えよう

Lesson 13

強弱をつけてひく

指の力を変えると、音の大きさが変わります。

フォルテ
forte／f
強く

ピアノ
piano／p
弱く

ポイント

- 鍵盤を速くおすと音が大きく、ゆっくりおすと音が小さくなります。
- 強弱があると、同じ旋律でも表情が生まれます。

やってみよう

1. ドを強くおして、フォルテの音を出してみよう。
2. 同じドを弱くおして、ピアノの音を出してみよう。

書いて覚えよう

Lesson 14

かんたんな曲をひく

覚えた音をつなげて、短い旋律をひいてみよう。

れんしゅう用のふしの例



ド・ミ・ソだけで作った、練習用の短い旋律です。

ポイント

- 最初はゆっくり、指番号を確認しながら練習します。
- ひけるようになったら、少しずつ速さを上げていきましょう。

やってみよう

1. 上の旋律を、右手でゆっくりひいてみよう。
2. 左手でも同じ旋律をひいてみよう。

書いて覚えよう

Lesson 15

伴奏の形

メロディを支える、伴奏という役割があります。

伴奏（ばんそう）

accompaniment（アカンパニメント）

メロディを支える、低い音の動き

ポイント

- 右手でメロディ、左手で伴奏を受け持つことが多い演奏形です。
- 伴奏は、同じ音をくり返したり、ゆっくり動いたりすることが多くあります。

やってみよう

1. 左手でドの音を、一定のリズムでくり返しおしてみよう。
2. そこに右手のドレミファソを重ねてひいてみよう。

書いて覚えよう

Lesson 16

和音をひく

いくつかの音を同時におすと、和音になります。

和音（わおん）

chord（コード）

高さのちがう音を同時に鳴らしたもの

ポイント

- ド・ミ・ソを同時におすと、明るく安定した響きの和音になります。
- 1本の指で1音ずつではなく、3本の指で同時におすのがコツです。

やってみよう

1. 1・3・5の指で、ド・ミ・ソを同時におしてみよう。
2. その和音を、4回くり返しておしてみよう。

書いて覚えよう

Lesson 17-18

練習のしかた・鍵盤の名曲

練習の進め方と、鍵盤楽器の曲の種類を知ろう。

練習の順番	内容
①	片手ずつ、ゆっくりひく
②	指番号を確認しながらくり返す
③	両手を合わせて、とてもゆっくりひく
④	少しずつ速さを本来のテンポに近づける

鍵盤楽器でよく演奏される曲の種類

童謡・唱歌　練習曲（エチュード）　クラシックの小品　ポピュラーの伴奏

短くやさしい曲から始めると、指づかいと両手のバランスを一度に練習できます。

やってみよう

1. ①〜④の順番で、知っている短い曲を練習してみよう。

書いて覚えよう

Lesson 19

1曲ひいてみよう

覚えたことを生かして、1曲仕上げてみよう。

曲名	
使った指番号	
むずかしい部分	
練習した回数	

Ken の例

曲名 練習用のかんたんな旋律／使った指番号 1・2・3・5／むずかしい部分 指くぐりの動き／練習した回数 8回

ポイント

- 1曲通してひけるようになるまで、少しずつでOKです。
- できたところを増やしていく感覚を大切にしましょう。

書いて覚えよう

Lesson 20

聴いてくらべよう

2つの演奏をくらべると、ちがいがよくわかります。

くらべるところ	演奏A	演奏B
速さ	速い・ふつう・ゆっくり	速い・ふつう・ゆっくり
強弱	大きい・ふつう・小さい	大きい・ふつう・小さい
ペダルの響き	多い・ふつう・少ない	多い・ふつう・少ない

ポイント

- 同じ曲でも、演奏者によって強弱やペダルの使い方がちがいます。
- 聴きくらべると、自分の演奏のヒントが見つかります。

やってみよう

1. 鍵盤楽器の演奏を2つ聴いて、表を完成させよう。

書いて覚えよう

Lesson
21-22

実際にやってみよう・ペアやグループで練習しよう

ひとりでも、みんなでも練習してみよう。

A （ドミソをひく）

B （まねしてひく）＿＿＿＿＿＿

A （少しちがう並びでひく）＿＿＿＿＿＿

B （まねしてひく）＿＿＿＿＿＿

ポイント

- A がひいた音を、B が耳でまねする「まねっこ練習」です。
- 交代しながら練習すると、聴く力もいっしょに育ちます。

ワンポイント 音がまちがっても大丈夫。相手の音をよく聴くことが上達の近道です。

書いて覚えよう

Lesson 23-24

よくあるつまずき・上達のコツ

つまずきには、共通した原因があります。

つまずき

よくあること

- **指番号どおりに動かない**
  指がもつれる
- **両手がバラバラになる**
  リズムが合わない
- **手に力が入りすぎる**
  指が動かしにくい

コツ

こうしてみよう

- **ゆっくり指番号を声に出す**
  1音ずつ確認
- **片手ずつ完ぺきにしてから合わせる**
  段階を分ける
- **肩と手首の力をぬく**
  軽くたまごを持つ形

ポイント

- できないところは、速さを落として区切って練習しましょう。
- 1つずつ直すと、全体の演奏がまとまってきます。

やってみよう

1. 自分がつまずきやすいことを1つ書こう。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
2. 上のコツから1つえらんで試してみよう。

書いて覚えよう

Lesson 25

用語をおさらい

この教材で出てきた言葉を確認しよう。

鍵盤の言葉

- ☐ **白鍵**
  ドレミファソラシの鍵盤
- ☐ **黒鍵**
  白鍵の間にある鍵盤
- ☐ **指番号**
  1〜5の指の番号

ひき方の言葉

- ☐ **指くぐり**
  親指をくぐらせる動き
- ☐ **指こえ**
  指を親指の上にこえさせる動き
- ☐ **伴奏**
  メロディを支える動き

音の言葉

- ☐ **和音**
  同時に鳴らした音
- ☐ **フォルテ**
  強く
- ☐ **ピアノ**
  弱く

ピアノの言葉

- ☐ **ダンパーペダル**
  音を長く響かせる
- ☐ **ソフトペダル**
  音をやわらかくする

ワンポイント 覚えた言葉に✓をつけよう。言葉を知ると、練習のポイントも人に伝えやすくなります。

書いて覚えよう

Lesson 26

復習クイズ

ここまでの内容をチェックしよう。

1. 言葉と意味を線でむすぼう

白鍵	●	● ア. 同時に鳴らした音
黒鍵	●	● イ. メロディを支える動き
指くぐり	●	● ウ. ドレミファソラシの鍵盤
和音	●	● エ. 白鍵の間にある鍵盤
伴奏	●	● オ. 親指をくぐらせる動き

2. 右手でドをひくときの指番号を書こう

1. _____

3. ドの見つけ方を書こう

1. _____

書いて覚えよう

Lesson 27

ふり返りチェック

できるようになったことを確かめよう。

☐	ドの位置がすぐに見つけられる	黒鍵の目印
☐	右手でドレミファソがひける	指番号1〜5
☐	両手を同時に動かせる	右手と左手の合わせ
☐	和音をひける	ド・ミ・ソの同時おし
☐	強弱をつけてひける	指の力加減

ポイント

- ✓がつかなかった項目は、もう一度そのページにもどってみましょう。
- 少しずつできることが増えれば十分です。

書いて覚えよう

Lesson 28

家でできる練習

毎日少しずつ、鍵盤にふれよう。

朝
ドレミファソを片手でひく

休み時間
指番号だけを声に出して確認する

帰宅後
両手でドの和音をひく

夕方
練習した曲を通してひく

夜
強弱をつけて1曲ひく

週末
家族に短い旋律を聴いてもらう

ポイント

- 1回5分でも、毎日続けることが上達の近道です。
- 夜おそい時間にひくときは、音の大きさに気をつけましょう。

書いて覚えよう

Lesson
29-30

発表してみよう・感想を書こう

練習した曲を、人に聴いてもらおう。

曲名	
練習した期間	
がんばったところ	
聴いてほしい人	

Emma の例

曲名 練習用の短い旋律／練習した期間 1週間／がんばったところ 指くぐりの動き／聴いてほしい人 家族

感想を3文で書こう

① この曲を練習して、〜な感じがしました。② とくに、〜のところをがんばりました。③ 次は、〜に挑戦したいです。

書いて覚えよう

Lesson
31-32

もっと知りたい人へ・次のステップ

鍵盤の世界は、まだまだ広がります。

もっと知りたい人へ

演奏会へ
ピアノの演奏を聴きに行く

動画で
指の動きをじっくり見る

楽譜を
図書館で少しむずかしい曲をさがす

次のステップ

音階
長音階・短音階を知る

ギター
弦楽器での和音の作り方

合奏
ほかの楽器と音を合わせる

ポイント

- この教材の次は「ギター」。和音や伴奏の考え方は、鍵盤で学んだこととつながっています。

書いて覚えよう

Lesson 33

学んだことをまとめよう

この教材で学んだことを、自分の言葉でまとめよう。

まとめ　自分の言葉で書こう

1. 鍵盤のならびで、覚えた目印は？ _____
2. いちばん練習したいと思ったことは？ _____
3. これから挑戦してみたいことは？ _____

鍵盤ミッションカード

MISSION 1
毎日5分、ドレミファソを練習する

MISSION 2
1曲、家族の前でひいてみる

MISSION 3
和音を3回ひいてみる

MISSION 4
友だちとまねっこ練習をする

できたミッションに✓をつけよう：　☐1　☐2　☐3　☐4

書いて覚えよう

Lesson 34

鍵盤ハーモニカ・ピアノの基本チャレンジ

教室の外でも、鍵盤はすぐに楽しめます。

音を出そう
ド・ミ・ソでロングトーンをひく

曲にしよう
覚えた音を並べて**短い旋律**を作る

聴かせよう
作った旋律を家族に聴いてもらう

こたえ

L26 白鍵→ウ 黒鍵→エ 指くぐり→オ 和音→ア 伴奏→イ　2. 親指　／ 3. 黒鍵2本の左どなり

L33 （例）鍵盤は、白鍵と黒鍵の規則的なならびと、指番号を覚えると弾きやすくなる。

書いて覚えよう

鍵盤ハーモニカ・ピアノの基本（Season 4 ｜ No.33）
発行：一般社団法人文化芸術支援協会
この教材の著作権は一般社団法人文化芸術支援協会に帰属します。個人の学習および家庭内での利用に限り、閲覧・保存・印刷ができます。
有料の講座・塾・研修での使用、販売・再配布、改変しての公開、生成AIへの入力などの商用利用は禁止しています。
くわしくは当協会ウェブサイトの「ウェブサイト利用規約」をご覧ください。